

市政のここを聞きたい！！

# 一般質問

14人の議員が古川市政を問う

掲載している内容は3月6日から9日までにを行った市政一般質問の要旨です。  
また、市議会ホームページでは各種議会情報、会議録の閲覧のほか、議会中継（生放送・録画放送）を見ることができます。



公明党  
永尾 邦忠 議員

## 問 産後ケアと子供の健康について

Q 「ネウボラ」とはフィンランド発祥の子育て支援拠点であり、国内でも妊娠から出産、子育てまで切れ目のない支援を行う子育て世代包括支援センター（日本版ネウボラ）の設置が進められている。本市における少子化危機突破のための取り組みは。

A 不妊・不育治療費助成、妊婦一般健康診査、成長に応じた乳児期の健康診査、13 疾病の定期予防接種、産前産後のママサポート事業、乳児家庭全戸訪問事業、小学生以下2 人目以降の保育料軽減、中学生までの医療費助成、乳幼児の育児用品の一部助成などを実施している。

Q 産後うつやDVなど、医師会と相談して産後ケア対策の取り組みができるのか。

A 産後ケアの大切さは認識しており、医師会と相談してみたい。

## 問 人口減少について

Q 今後、税収減が見込まれる中、老朽化する公共施設の整理など、思い切った方針を出すべきと思うが。

A 公共施設は40 年間で43 %削減する必要がある、まずは10 年間で10 %削減するよう市民会議から提言を受けている。市の責任として市民に周知をしながら計画を進めていきたい。

## 問 教育について

Q 小学校での英語、ダンス、プログラミング教育が導入されるが、教職員の負担増への対応は。

A 外国語指導助手の効果的な活用や、研修による教職員の専門性の向上など、できるだけ学校現場の負担増とならないよう計画的に取り組んでいる。

Q 空き教室で高齢者大学校のような活用ができないか。

A 検討していきたい。

【その他の質問項目】  
◇人工内耳について